

1年通信

第17号
2013年2月8日

SNS特集

尾張旭市立旭中学校

この通信は1年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。編集:伊藤

中学生にケイタイやスマホは必要?

日々進化する情報通信

最近の情報通信分野は、すごい勢いで進化しています。単なる通話やメールだけではなく、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)というインターネット上での各社のサービスが始まり、掲示板やグループチャットなどで、多くの人が同時に交流できるようになりました。

SNSには、mixi(ミクシィ)・Facebook(フェイスブック)・Skype(スカイプ)・Google+(グーグルプラス)・Twitter(ツイッター)・LINE(ライン)・KakaoTalk(カカオトーク)・GREE(グリー)・Mobage(モバゲー)などがあり、多くは無料で利用できます。各会社は画面に広告を表示させ、その収入で運営しています。運営するSNSサイトの会員数が多いほど、広告料を高くできるので、運営会社にとって会員数を増やすことが重要なこととなります。

SNSの落とし穴に注意

知り合いを増やしたり、離れた友達同士で交流したりするときに、SNSはとても便利なサービスです。しかし、便利な分だけ落とし穴があるので、注意する必要があります。

まずは、個人情報流出の問題です。インターネットは日本だけでなく世界中の人が入って見ることができる世界です。例えば、Facebookでは自分自身の情報がサイト内ですべてつながりになります。LINEやKakaoTalkでは、自分のスマートフォンにある電話帳の情報がすべてつながりになります。つまり、電話帳にある知り合いの情報までもれてしまうのです。(電話帳を登録しない

か、登録した後に一つ一つ「保護」をかければよいのですが…)

もう一つの問題は、出会い系サイトとして利用されていることです。スマートフォンではLINEのアプリケーションを使う若い人が特に多いことに目をつけて、「友達募集」というような掲示板をつくる大人たちがいます。そこに書き込みをした人のIDを入力すれば、通話ができたり、メッセージを送ったりすることができるので、出会い系サイトと同じ事ができてしまいます。実際に、少女が犯罪に巻き込まれたケースが報道されています。気をつけましょう。

携帯・スマホを持つと

今度は使い方の問題です。メールやグループチャットでは、「早く返事をしないといけない」とか「必ず返事をしないといけない」とかというような風潮ができています。そうすると、家庭での自分の時間は、ほとんどケイタイ・スマホやパソコンに使うこととなります。そのために、睡眠不足になっている人を教室で見かけます。(また、月々の利用料金も軽視できません。)

さらに、ネット社会の問題として、グループチャットやブログなどで

「人の悪口」を書き込むということが後を絶ちません。多くの人と気軽に交流できることは便利なのですが、心のない人たちは誰かの批判や悪口を書くことで仲間意識を高めていくようです。誰かを悪くして語り合うことは、楽に共感し合えるからです。もし、旭中の1年生にそういう人たちがいたのなら、すぐにやめてください。

言いたいことは直接に

中学生は校区中心の地域で生活しています。インターネットを使わなくても、直接に会えて話せる生活範囲です。言いたいことがあったら直接に言うということが、よい人間関係をつくる時にとても大切なことなのです。お互いに向き合って話をすれば、トラブルのもとが誤解や勘違いから始まったことが分かります。あるいは、自分や相手の悪かったことがはっきりとします。そこで、自分の思いを相手に伝えれば、お互いにわかり合えます。

直接に話し合うことなく、お互いに陰口を言い合っていると、問題が解決しないばかりか対立が深まって、いずれ嫌がらせをするようになり、いじめに発展します。

携帯・スマホは時間制限で

校区内で生活する中学生には、電話やパソコンを持ち歩く(携帯電話・スマートフォン)必要はないと思います。アナログの直接触れあう人間関係をもっと深めてほしいと思います。持っている人は、利用時間を減らしましょう。持っていない人は、是非そのままいきましょう。



